



©モウテンくん
-ことは丑年-

モウ点を無くして STOP! 労働災害

—みんなで協力して 労働災害を防止するための活動を—

令和3年において、福島労働基準監督署管内（以下「当署管内」）における休業4日以上労働災害が前年比で大きく増加しております。特に、作業手順を作成したから安全だと思った、今まで負傷しなかったからこれからも大丈夫だと思った等、思い込みが原因の心理的な盲点（見てはいるけど、やっではないけど、詰めが甘いポイント）による、労働災害が多発しています。

「盲点による災害事例」を参考にして、同様の災害を起こさないため労使が協力して、労働安全衛生法令の遵守とともに、効果的な労働災害防止活動を実施し『モウ点を無くして STOP! 労働災害』の推進をお願いします。

主な業種別の盲点による災害事例

製造業の盲点による災害事例

【災害概要】

機械を停止する作業手順書を作成していたが、スライサーに物が詰まって刃が止まっていたため、機械を停止させずに手で取ろうとしたら急に刃が動き出して指を切創した。



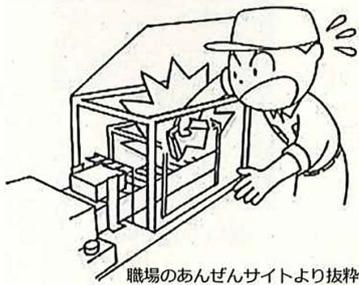
職場のあんぜんサイトより抜粋

【盲点】

- ・ 作業手順を作成したら安全だと思い込み、作業者が作業手順どおりに作業を行っているかを確認していなかった。
- ・ 刃が止まっていたため、機械は動かないと思い込み、機械を停止させずに作業を行った。

【対策例】

- ・ 安全で作業効率が良い作業手順となるように作業者と安全担当者等が話し合って作成する。（安全でも、作業効率が良くないと作業手順どおりに作業を行わなくなりやすいです。）
- ・ 作業手順どおりに作業を行っているかを安全パトロール等を実施して確認する。



職場のあんぜんサイトより抜粋

【災害概要】

扉を開けると機械が自動停止するインターロックを設置していたが、インターロックを無効化した状態で使用し、機械を停止させずに扉を開けて様子を見たところ、動いている機械に手が巻き込まれて骨折した。

【盲点】

- ・ インターロックを設置したら災害は発生しないと思い込み、インターロックが機能しているかを作業開始前に点検しなかった。
- ・ インターロックを無効化しても気を付ければケガをしないと思い作業を行っていた。

【対策例】

- ・ 設置したインターロックが有効に機能しているか、作業開始前に点検をする。
- ・ 危険体感教育を実施する等、可動中の機械の危険性を理解しやすいよう工夫する。



運輸交通業の盲点による災害事例

【災害概要】

ロールボックスパレットを引っ張って運搬していたところ、車輪が自分の足に乗り上げて、足指骨折した。

【盲点】

朝礼で、労働災害に気を付けるように毎日言っていたから大丈夫だと思っていた。

【対策例】

右リーフレットや、事業場で決めた労働災害防止のルールをトラックの運転席から見える位置に張り付けて、一人作業でも常に労働災害防止を意識するようにする。

【災害概要】

トラックの荷台で荷積み作業中、足を踏み外して地面に墜落し、骨盤骨折した。



リーフレット「トラック荷台からの転落を防ぐために」
(厚生労働省ホームページ)



リーフレット「ロールボックスパレット使う前の5つの基本チェックリスト」
(厚生労働省ホームページ)

農林業の盲点による災害事例

【災害概要】

経験20年以上のベテラン作業者が段差のある場所に設置した脚立に乗って、庭木の剪定を行っていたところ、バランスを崩して地面に墜落し、かかとを骨折した。

【盲点】

いつも通り作業を行えば、災害は発生しないと思い、段差のある場所に脚立を設置して使用した。

【対策例】

- ・右上リーフレットを使用して作業開始前点検を行って、段差のない場所に脚立を設置する。
- ・過去の無災害の経験から安全だと思い込まず、常に労働災害が発生するかもしれないと考えて、災害防止に取り組む。



リーフレット「脚立を使う前に」
(厚生労働省ホームページ)

商業、社会福祉施設の盲点による災害事例

【災害概要】

店舗内を歩いていたところ、床が濡れて滑って転倒し、右手を骨折した。

【盲点】

床が濡れたらすぐに拭き取るルールを決めていたが、拭き取る道具を遠い事務所にしか置いていなかったため、床が濡れても放置していた。

【災害概要】

人手が足りなかったため、1人で利用者を車椅子から移動させようとしたところ、腰痛になった。

【盲点】

2人で行うことになっていたが、他の業務で忙しそうだったので1人でやってしまった。

【対策例】

- ・災害防止のためのルールどおりに災害防止対策が行えるよう、道具の数や置き場、人員の配置や作業量を配慮する。



リーフレット「労働災害を減少させた好事例の紹介」
(厚生労働省ホームページ)

モウ点を無くして！

STOP! 冬の転倒災害

冬季に、路面の凍結や積雪を原因とする転倒災害が増える傾向にあることから、盲点による転倒災害の発生を防止する対策を実施してください。

©モウテンくん
モ〜転ばないの巻



モウ点を無くして STOP! 労働災害

令和3年6月末日において、福島労働基準監督署管内（以下「当署管内」）の建設業における休業4日以上の労働災害が前年比で大きく増加しております。特に、**心理的な盲点（見てはいるけど、やってはいるけど、詰めが甘いポイント）**による、労働災害が多発しています。

盲点による労働災害を発生させることのないよう、労働安全衛生法令の遵守とともに、「盲点が潜みやすい事故の型」の危険予知活動を作業前に行い、「盲点による災害事例」を参考に同様の災害を起こさないように対策を実施して、『**モウ点を無くして STOP! 労働災害**』の推進をお願いします。

1 盲点が潜みやすい事故の型

当署管内の建設業における令和2年、3年の各6月末日受付の事故の型別労働災害発生状況は、図1のとおりです。

特に、**①墜落・転落**、**②激突され**、**③飛来・落下**、**④転倒**が前年より大きく増加しており、盲点が潜みやすい事故の型といえます。

作業開始前に、この盲点が潜みやすい事故の型による災害について、危険予知活動を必ず行い、必要な災害防止対策を実施してください。

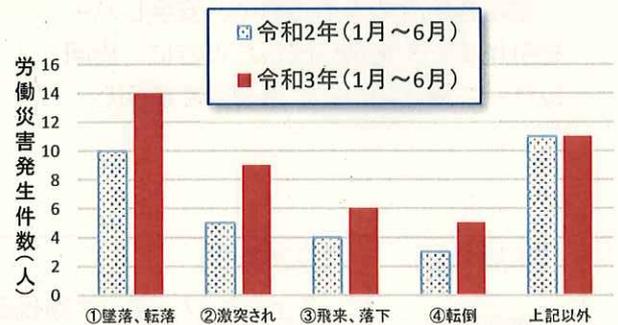


図1 建設業における令和2年、3年の主な事故の型別労働災害発生状況（1月から6月末日受付）

※当署管内の休業4日以上の労働災害

2 盲点による災害事例

【事故の型】 墜落・転落	【災害概要】 法面補修のため、メインロープ1本のみ使用して、法面でロープ高所作業を行っていたところ、ロリップがメインロープから外れて作業者が法面を転落し、頸椎骨折した。
-----------------	---



【盲点】
ロリップを取り付けたように見えたため、ロリップが外れるとは思わなかった。

- 【対策】
- ・安全衛生法に則り、**メインロープとライフラインの2本を使用する。**
 - ・ロリップを確実に取り付けたかを**複数名で動かして確認する。**

〈裏面に続く〉

<p>【事故の型】 墜落・転落</p>	<p>【災害概要】 新築工事のため、可搬式作業台に乗って作業を行おうとしたところ、別の業者が床面に配管用の開口部（穴）を開けて養生テープのみで蓋をしていた場所に可搬式作業台の脚を置いてしまい、養生テープが抜けて、バランスを崩して地面に墜落し、踵骨折した。</p>
-------------------------	---



【盲点】

開口部（穴）は全て硬い板等で塞いでいるものと思いこみ、養生テープの下に開口部（穴）があるとは思わなかった。

【対策】

可搬式作業台等を使用する場所の周囲を確認し、脚部は堅固な場所に設置したかどうかを、**試し踏み等をして確認**する。

<p>【事故の型】 激突され</p>	<p>【災害概要】 土木工事で、ドラグショベルによる残土運搬作業の誘導業務を終えた誘導者が、ドラグショベルの作業半径内に立ち入ったところ、ドラグショベルの運転者が後方確認のために身を乗り出したはずみで、誤って旋回レバーに触れてしまい、誘導者が旋回したバケットに激突され、骨盤骨折した。</p>
------------------------	--



【盲点】

ドラグショベルを旋回させないと思い、誘導者が作業半径内で作業した。
運転者が大丈夫だと思い、安全レバーを引かずに身を乗り出したときに、旋回レバーに体が触れて、意図せず旋回した。

【対策】

- ・安全衛生法令に則り、**作業半径内には労働者を立ち入らせない。**
- ・誘導者が**安全に誘導できる位置をあらかじめ決めて**、その場所で誘導を行うよう徹底する。
- ・運転操作を行わない時には、**都度必ず安全レバーを引く。**

<p>【事故の型】 激突され</p>	<p>【災害概要】 チェーンソーで立木を伐倒作業中、合図だけ行って、周囲の労働者が退避したことを確認せずに伐倒したところ、退避しなかった労働者の方向に倒れ、伐倒木に激突されて死亡した。</p>
------------------------	--



【盲点】

合図をしたから避難すると思って、避難状況を確認しなかった。

【対策】

- ・伐倒の合図をした後、**伐倒木の高さの2倍距離を半径とする円形内に他の作業者が立ち入っていないことを目視で確認**してから伐倒する。

<p>【事故の型】 高温・低温の物との接触（熱中症）</p>	<p>【災害概要】 建設工事のため、気温35℃の工事場所で清掃作業を行っていたところ、休憩しようと歩いている途中で急に倒れ、熱中症で死亡した。</p>
------------------------------------	---

【盲点】

適宜休憩するように作業員に言っており、現場に経口補水液を用意していたから大丈夫だと思っていた。（当日は誰も飲んではいなかった）

【対策】

- ・のどが渇いていなくても、**定期的に経口補水液等を摂取**する。
- ・体調不良を訴えたら、**すぐに病院に搬送**する。
- ・簡易テントや扇風機の設置、ファン付き作業服、**休憩中のプレクーリング（水道水等で手のひら足を冷やす）**を行う。